

2023. 9. 8 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

立命館大学映像学部生プロデュース
映画上映企画「美しき天才、グザヴィエ・ドラン」開催
京都みなみ会館で行う最後の連携企画
日程：2023年9月15日（金）～21日（木）
会場：京都みなみ会館

立命館大学映像学部と京都みなみ会館は、9月15日（金）～21日（木）の日程で、カナダ出身の映画監督・俳優グザヴィエ・ドラン主演作品の上映企画「美しき天才、グザヴィエ・ドラン」を開催いたします。

グザヴィエ・ドランは、19歳でのデビュー作『マイ・マザー』（2009年）がカンヌ国際映画祭で脚光を浴びて以降、才能あふれる映画監督・俳優として、作品を発表するごとに、国内外で高い評価を集めてきました。今年はデビュー作から15年の節目を迎えています。

この企画では、この節目の年を記念するため、近年のドラン監督作品を特集上映し、ドランの業績を振り返ります。上映作品は、アスペクト比の変化という挑戦的な手法でセンセーションを巻き起こした『Mommy/マミー』、カンヌ国際映画祭でグランプリを受賞し、彼の作品の中でも傑作と名高い『たかが世界の終わり』、初の全編英語作品となった『ジョン・F・ドノヴァンの死と生』、最新作でありドランがマキシム役を務める『マティアス&マキシム』の4本。あわせて、今回の上映作品のうち3本のポスター、パンフレットのデザインを手がけたグラフィックデザイナーの大島依提垂氏を招き、ドラン作品の魅力についてお話しいただくトークイベントを開催します。

なお、本企画は、同学部に在籍する2回生以上が受講する「映画上映実習」の授業の一環で、学生たちが映画を中心とした作品の上映企画を立案し、京都みなみ会館の協力のもと、実践するものです。学生たちが主体となって上映作品の選定、ちらしの作成、広報活動、当日の会場運営（補助）など、全てを行っています。2008年より、本学と京都みなみ会館の共同主催により企画を実施しています。

記

日 時：2023年9月15日（金）～21日（木）

会 場：京都みなみ会館

（〒601-8424 京都市南区西九条川原城町110）

スケジュール：別紙

入 場 料：各回当日一般1,800円／シニア1,200円／学生・会員1,000円

主 催：立命館大学映像学部、京都みなみ会館

企 画：学生企画グループ「チームミレイユ」（秋武怜花・バスマジユ貴和・濱永祐菜・井筒彩）

以上

●上映についてのお問い合わせ先 京都みなみ会館 TEL. 075-661-3993

※記事掲載いただく際は、京都みなみ会館のみ（電話番号含む）ご記載願います。

●取材についてのお問い合わせ先 立命館大学映像学部 川村 k-kawamu@im.ritsumei.ac.jp

別紙

【スケジュール】(予定)

9/15(金)	17:25- たかが世界の終わり	19:25- ジョン・F・ドノヴァンの死と生
9/16(土)	17:20- Mommy/マミー	19:50- マティアス&マキシム
9/17(日)	16:00- たかが世界の終わり 大島依提亜氏ゲストトーク	18:45- Mommy/マミー
9/18(月)	17:20- ジョン・F・ドノヴァンの死と生	19:40- マティアス&マキシム
9/19(火)	17:25- マティアス&マキシム	19:45- たかが世界の終わり
9/20(水)	17:25- たかが世界の終わり	19:25- Mommy/マミー
9/21(木)	17:20- マティアス&マキシム	19:35- ジョン・F・ドノヴァンの死と生

【上映作品】

『Mommy/マミー』(2014年)

製作国:カナダ 上映時間:138分 配給:ピクチャーズデプト

あらすじ:架空のカナダでは、2015年の連邦選挙で新政権が成立した。その2ヶ月後、内閣はS18法案を可決する。発達障がい児の親が、経済的困窮や、身体的、精神的な危機に陥った場合、法的手続きを経ずに養育を放棄し、施設に入院させる権利を保障するという法律である。それに翻弄されるダイアン・デュプレの心情をアスペクト比の変化という挑戦的な手法で表現する。

『たかが世界の終わり』(2016年)

製作国:フランス、カナダ 上映時間:99分 配給:ギャガ

あらすじ:自らの余命を家族に告げるため、12年ぶりに帰郷する人気劇作家のルイ。母のマルティエヌは息子の好きな料理を用意し、幼い頃に別れた妹のシュザンヌは慣れないオシャレをして待っていた。テーブルにはオードブルが並び、ぎこちない会話が続く。デザートには打ち明けようと決意するルイだが、兄のアントワヌの言葉をきっかけに亀裂が入る。

『ジョン・F・ドノヴァンの死と生』(2019年)

製作国:イギリス、カナダ 上映時間:123分 配給:ファントム・フィルム/松竹

あらすじ:2006年、人気俳優のジョン・F・ドノヴァンが29歳の若さでこの世を去った。謎に包まれた死の真相の鍵を握っていたのは11歳の少年ルパート・ターナー。10年後、新進俳優となったルパートは、ジョンと交わっていた100通以上の“秘密の文通”を1冊の本として出版する。

『マティアス&マキシム』(2019年)

製作国:カナダ 上映時間:120分 配給:ファントム・フィルム

あらすじ:幼馴染のマティアスとマキシムは、友達の妹が撮る短編映画でキスシーンをお願いされる。それをきっかけに秘めていた互いへの気持ちに気づいてしまう。婚約者のいるマティアスは、その思いもよらぬ感情と衝動に戸惑いを隠せない一方、マキシムはこれまでの友情が壊れてしまうことを恐れ、マティアスの元を去る準備をしていた。